

将来世代
応援
企業賞

社会福祉法人青谷学園 (京都府)



代表者：理事長 白樫 忠

所在地：京都府城陽市中戸原 14 番地

業種：医療、福祉

事業内容：第一種社会福祉事業（障害者支援施設）

第二種社会福祉事業（特定相談支援事業・障害福祉サービス事業）

設立年：1982年3月



青谷学園

従業員数：99人（男性41人、女性58人）

URL：<https://aodani.or.jp>

企業の取り組み状況等

背景 社会情勢の変化で福祉人材確保が困難となる中、「全ての職員が健康で長く働き続けられる職場環境づくりに取り組む」健康宣言を公表しました。女性職員の出産・育児休業の取得はもちろん、男性職員も育児に関わることでできる環境を整えるため「イクメンのすすめ」を繰り広げ、さらなる職場環境の改善に取り組んでいます。「くるみん」は2011年に認定を受け、育休を取りやすい職場風土づくりのために、2017年から働き方改革も始めています。

■週休3日制の導入

- ・出産等で退職が多かったため、2017年から週休3日制を導入。1日10時間労働とすることで2交代制を実現
- ・年1,920時間労働、年間休日173日となり、給与を維持しつつワーク・ライフ・バランスが実現可能に
- ・1日10時間労働となったことから、仮眠を含む夜勤の拘束時間は約20時間から約13時間に大幅短縮

■DXによる職員の負担軽減

- ・利用者の安全や職員の負担軽減のためDXを推進し、人にしかできない付加価値を高めるところに人材を投入
- ・利用者の睡眠時の異変を知らせるシステムや介護を支えるパワーアシストスーツなどを導入し、職員の夜勤負担も軽減

■イクボス宣言

- ・理事長と施設長が自ら「イクボス宣言」し、施設長自身も30日の育休を取得し、休みやすい職場風土が醸成

■子育て支援

- ・育児短時間勤務は小学校3年生まで利用可能。子の看護休暇のうち1日は有給休暇
- ・保育園や学校の突然の休校時や子供がメンタル不調の時も子連れ出勤が可能。その間、イクボスが子守り役になることも

■説明会の充実

- ・育休取得職員による実践発表や育休30日目までは給与が減額されないなどの「育休中の収入に関する説明会」を定期開催

■治療と仕事の両立支援

- ・毎年5日の不妊治療休暇（無給）あり。時間単位でも取得可
- ・毎年15日のがん治療のための特別休暇（有給）あり。時間単位でも取得可

取組

□育休取得率：100%（全員が30日以上） □年次有給休暇取得率：91.4% □平均残業時間：月15分

◇きょうと健康づくり実践企業最優秀賞受賞（2020年度・京都府）

◇がん対策推進パートナー賞（中小企業部門）受賞（2022年度・厚生労働省がん対策推進企業アクション）

◇あったか子育てきょうと表彰受賞（2023年度・京都府）

◇京都府あげぼの賞特別賞（2023年度・京都府）

◇健康経営優良法人2023（中小規模法人部門）ブライツ500認定（2023年度）

◇プラチナくるみん・プラチナえるぼし認定（2023年度）

◇ホワイト企業ランキング1位（非営利一般社団法人安全衛生優良企業マーク推進機構）（2023年9月・10月）

成果

応援しています！

十人十色だからこそ生まれる発想と、周りの人を思いやる心を大切に、誰もが働きやすい職場づくりを目指しています。どの世代の職員にも、笑顔と健康で長く働けるよう「健康ファミリー青谷学園」を展開しています。不満要因を取り除き、エンゲージメントを高め、組織と個人が貢献し合う職場環境づくりに努めています。そして、それぞれのワーク・ライフ・バランスが実現するよう応援しています。

活用しました！

- ・周りに背中を押され30日の育休を取りました。家事は妻任せだったので、「家事・育児ワンオペ」を経験することを決意。体力的にも精神的にも想像以上に辛く、仕事をしている方が楽とも感じました。育休後も離乳食を作って、妻がリフレッシュできる時間を作っています。（男性施設長）
- ・9か月の育休で赤ちゃんの成長を実感できました。産後1か月ほど妻の体調が悪かったので、育休を取っていて本当に助かりました。（男性副主任）

